

# 環境デザイン学科

## 教育目標（育成する人材像）

環境デザイン学科は、生活の質を高め、「ひと」と「環境」との美しく豊かな関係を実現できる人材を育むことを目標とします。

## ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

### 修得する能力

探求力	環境に関わるすべてのものごとに興味をもち、その理解と創造に必要な知識と豊かな感性を身につけることができる
思考力	人と環境の関係を整理、分析することで課題を発見し、その解決にむけて論理的思考にもとづいた仮説を導き出すことができる
発想・構想力	固定観念にとらわれない新しいイメージを発想し、それを具現化する計画を構築するとともに具体的な空間や形を導き出すことができる
表現力	計画内容を適切に視覚化、言語化することで、分かりやすく他者に伝えることができる
行動力	みずから決断し、新しい取り組みや社会的課題の解決にむけて積極的に挑戦することができる
継続力	目標の達成に向かって、計画的に、あきらめることなく続けることができる
コミュニケーション力	対話を通じて互いの考えを理解することで、他者と協調し、自らの役割を果たすことができる

## カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

・環境デザイン学科では、建築、インテリアデザイン、ランドスケープデザイン、まちづくりなど、環境形成にかかわるすべての領域・分野について総合的に学びます。

・1・2年次は環境デザインの基礎的な演習講義を履修し、そこでさまざまな領域に共通するスキルと知識を学びます。3年次で各領域に分かれたあとは、4年次で各分野ごとに専門のプロになるためのクリエイティブな能力を身につけます。

・科目は以下の4つのカテゴリーから構成されます。

- 1) 講義系を中心とした『ナレッジ』カテゴリー。
- 2) 基礎演習系・スキル習得演習系および学内外での実習からなる『プラクティス』カテゴリー。
- 3) 高次の設計演習課題に段階的に取り組む『クリエイション』カテゴリー。
- 4) リアルな仕事の実際に触れる『キャリア』カテゴリー。

これらを通して、設計に必要な基礎知識や表現方法などを学び、環境や空間を全体的に把握する感覚を身につけ、また、今までの狭い専門領域に閉じこもることなく、地球規模の広い環境意識をもちながら、優れた芸術的感性を駆使して美しい環境づくりに貢献できるような能力を身につけます。